

コンゴ共和国
ポワント・ノワール市水産物バリューチェーン
改善プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

平成24年5月
(2012年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

農村
J R
12-082

コンゴ共和国
ポワント・ノワール市水産物バリューチェーン
改善プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

平成24年5月
(2012年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

序 文

日本国政府は、コンゴ共和国政府の要請に基づき、同国のポワント・ノワール市水産物バリューチェーン改善プロジェクトにかかる詳細計画策定調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構が本調査を実施しました。

調査団は2012年3月4日から4月10日まで現地に派遣され、関係機関における現地調査とともに、コンゴ共和国政府関係者との協議を重ね、基本計画について合意しました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願います。

調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成24年5月

独立行政法人国際協力機構

農村開発部長 **熊代 輝義**

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表
事業事前評価表

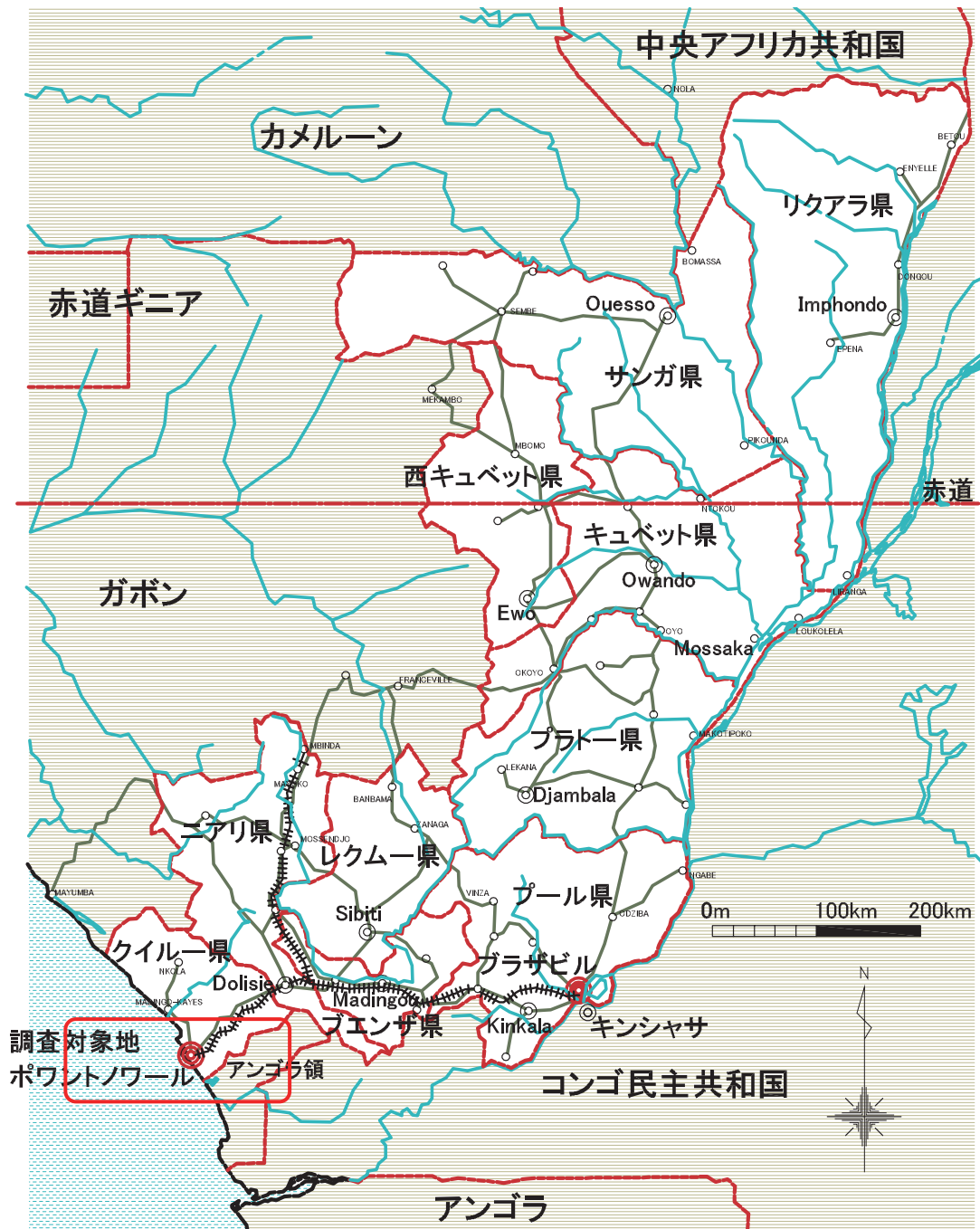
第1章 調査の概要	1
1-1 調査の目的及び背景	1
1-2 コンゴ共和国における開発計画、水産関連政策の概要	1
1-3 コンゴ共和国における水産業の現状と課題	3
1-4 わが国の援助方針	6
1-5 調査団員の構成	7
1-6 調査日程	7
第2章 現地調査結果	11
2-1 ポワント・ノワール市を中心とした水産セクターの概要と課題	11
2-1-1 生産	11
2-1-2 水揚げ	12
2-1-3 加工	13
2-1-4 流通	14
2-1-5 販売	18
2-2 先方政府の組織体制	19
2-2-1 漁業養殖省（MPA）の組織体制	19
2-2-2 MPA（漁業養殖省）各総局の組織体制	22
2-2-3 ポワント・ノワール支局の組織体制	25
2-3 ポワント・ノワール市の社会経済等の状況	26
2-3-1 社会経済条件	26
2-3-2 環境社会配慮制度	28
2-4 他ドナー等の支援動向	31
2-5 水産物バリューチェーンにおける協力の方向性	34
2-5-1 水産物バリューチェーンの定義	34
2-5-2 鮮魚のバリューチェーン	35
2-5-3 燻製魚のバリューチェーン	36
2-5-4 塩干魚のバリューチェーン	36
2-5-5 鮮魚・燻製魚・塩干魚の各バリューチェーンにかかる共通の課題	37
2-5-6 想定される技術的支援内容	38
2-5-7 関連組織	39

2-5-8	関連法制度	39
2-6	水産関連インフラ、機材における協力の方向性	39
2-6-1	ポワント・ノワール市の地理・自然条件	39
2-6-2	パイロットプロジェクトのサイト候補地の状況	43
2-6-3	想定される水産関連インフラ・機材面の支援内容	50
2-6-4	水産関連インフラ・機材に係る諸制度	54
2-6-5	ポワント・ノワール自治港（PAPN）による開発計画	61
第3章	本格調査の協力概要	63
3-1	協力の基本的な考え方	63
3-1-1	総論	63
3-2	協力の基本計画案	63
3-2-1	本格調査名称	63
3-2-2	本格調査の構成	63
3-2-3	実施体制	63
3-2-4	対象地域	64
3-2-5	裨益対象者	64
3-2-6	協力期間、スケジュール	64
3-2-7	上位目標	64
3-2-8	目標	64
3-2-9	成果	64
3-2-10	活動	64
3-2-11	パイロットプロジェクトの目的	66
3-2-12	パイロットプロジェクトの実施計画案	66
3-2-13	パイロットプロジェクト・サイト候補地の選定	70
3-2-14	概算事業費	70
3-2-15	施設建設、機材調達が伴うパイロットプロジェクトの実施プロセス	74
3-2-16	環境社会配慮予備的スコーピングの結果	79
3-3	日本側の投入	92
3-3-1	専門家の構成、派遣計画	92
3-3-2	研修員受入れ	92
3-3-3	プロジェクト側負担事項	92
3-4	相手国側の投入	92
3-4-1	カウンターパート	92
3-4-2	相手国側負担事項	92
3-5	提言	95
3-5-1	協力にあたっての留意事項	95

付属資料

1. 調査日程表	99
2. ミニッツ、R/D 案	102
3. 現地調査メモ	121
4. 現地収集資料	199
5. 主要面談者リスト	203

コンゴ共和国



アフリカ全図



ベース・アジップ浜：2010年の港湾局による漁村撤去後、石油採掘関連企業による利用が一部開始されている。



ベース・アジップ浜：港湾施設のための造成が行われる傍らの浜辺で、鮮魚の水揚げ、取り引きが行われている。



ベース・アジップ浜：鮮魚は砂浜の上で取り扱われており、非衛生的で劣化しやすい状況である。



ベース・アジップ浜：浜へのアクセス道路沿いには漁村撤去後も加工魚の小売店舗が出店している。



ソングロ浜南側：ベース・アジップ浜を追われた漁民、加工者が移転し活動を再開している。



ソングロ浜南側：ベース・アジップ浜とを隔てるソングロ川にはNGOが管理するマングローブ保護林がある。



ソングロ川北：早朝の水揚げの様子、さまざまな人々で混雑している。



ソングロ川北：早朝の水揚げの様子



砂浜における一次加工、鮮魚の取り扱いには不適切な環境である。



炎天下で取り引きされる漁獲物



燻製加工の様子、すべて手作業



道端で出荷（タクシー）を待つ燻製魚